

リスクマネジメント

基本的な考え方

リスクは企業活動に重大な影響を及ぼす緊急事態発生時の対応だけでなく、リスクを未然に防ぎ、軽減措置を講じることが重要であるとの考えに基づき、リスクマネジメントを推進しています。また、「食と健康」に関わる企業の責務として、緊急時であっても必要としている方々へ医薬品や粉ミルク、流動食などを滞りなくお届けできるよう、体制の整備にも努めています。

マネジメント体制

明治グループでは、食品事業、医薬品事業それぞれに適したリスクマネジメント体制の構築を推進しています。事業のリスクとして認識している要因^{*}などは、明治ホールディングス(株)も含めた3社の会議体で定期的な情報を共有し、早期の感知に努めています。また、それ以外の課題も抽出し、対応を検討しています。

^{*} **WEB** 「有価証券報告書(2017年度)」(P15)をご覧ください。
https://www.meiji.com/investor/library/securities/2017/pdf/securities_2017_04.pdf

事業継続計画(BCP)強化

大地震などの自然災害や甚大な被害をもたらす危機が発生した場合、早期に事業を復旧させ、医薬品・食品の供給責任を遂行できるよう、BCPの強化に努めています。

リスクを成長機会につなげる

事業に影響を及ぼすと考えられる社会動向や社会課題、リスクは、「明治グループ 2026 ビジョン」および「明治グループ CSR2026 ビジョン」に織り込んでいます。明治グループではこうした環境の変化を新たな成長の機会と捉え、常に一步先を行く価値を創り続けていきます。

→ 「明治グループ 2026 ビジョン」はP10、
「明治グループ CSR2026 ビジョン」はP32をご覧ください。

コンプライアンス

基本的な考え方

明治グループでは、公正・透明・自由な競争ならびに適正な取引の実現のため、各国・地域の法令や社会的ルール等を遵守しています。企業行動憲章に基づく社内規程を定め、社内教育・研修の充実を図り、コンプライアンス意識の醸成とコンプライアンス活動の推進に努めています。高い倫理観を持って行動し、社会から信頼される企業として、発展し続けることを目指しています。

マネジメント体制

明治グループでは、「コンプライアンス規程」や関連規程の整備、関連委員会の設置などを行い、内部通報制度についても体制を整備しています。

(株)明治では、リスクマネジメントとコンプライアンスは密接な関係にあるという考えから、リスク・コンプライアンス委員会を設置し、さまざまな活動を推進しています。

「コンプライアンスは事業の礎」を事業活動の原点と位置付け、公正かつ誠実に業務を遂行するよう、コンプライアンス意識の醸成・定着に向けた活動を推進しています。

Meiji Seika ファルマ(株)は、「コンプライアンス・プログラム・ガイドライン」、「Meiji Seika ファルマ(株)コード・オブ・プラクティス」を定めています。これらを通じて、人々の健康に関わる製品を取り扱う生命関連企業に従事する者として、高度の倫理観をもって行動することを全役員、従業員に求めています。

2018年7月から明治グループに加わったKMバイオロジクス(株)では、コンプライアンス委員会などの推進組織を設置し、コンプライアンス教育・研修の実施や内部通報制度の適切な運用によって、リスクの早期発見に努めています。明治グループの一員として今後、コンプライアンス体制のいっそうの強化を図っていきます。